

# どすこい!

森埜こみち／作 佐藤真紀子／絵 国土社



春の相撲大会<sup>すもうたいかい</sup>で、6年生とは思えない体格の豪<sup>たいかく</sup>に負けた凡<sup>ごう</sup>と健太<sup>ぼん</sup>。秋の大会での優勝<sup>ゆうしょう</sup>を目指す二人は、近所にある駄菓子屋<sup>だがしや</sup>の店主のじいさんが元力士だと知り、相撲<sup>すもう</sup>を教えてくれるよう頼みにいく。でもじいさんは、ちらりと見て一言<sup>いちごん</sup>いうだけで…。相撲<sup>すもう</sup>に夢中<sup>むちゅう</sup>になっていく少年たちの成長物語<sup>せいちょうものがたり</sup>。

## ♪“うちどく”ノートにきろくしciao♪<sup>ちゃお</sup>

学校の本も、図書館の本も、おうちにある本も、読んだら“うちどく”ノートにきろくしよう。本を読んだ日や、本のタイトルを書いておくと、あとからもう一度読みたくなった時や、おうちの人や友だちに紹介<sup>しょうかい</sup>したい時に役に立つよ! 一年間でどのくらいきろくできるかチャレンジ!“うちどく”ノートは中央図書館でもらえるよ。カウンターに声をかけてね。

# 保健委員は恋してる

小松原宏子／作 あわい／絵 静山社



大好きな先生のために保健委員<sup>ほけん</sup>に立候補<sup>りっこうほ</sup>したアスカ。がんばっていいところを見せようとした矢先、先生が事故<sup>じこ</sup>で入院<sup>にゅういん</sup>してしまいます。代理<sup>だいり</sup>できた先生は、大好きな先生とは正反対<sup>せいはんたい</sup>! かわいし、声は大きいアスカの苦手なタイプの先生で…。

## 村上市の図書館(室)案内

### 図書館

- 中央図書館(教育情報センター内)  
村上市田端町4-25 TEL53-7511(代)
- 朝日図書館(総合文化会館内)  
村上市岩沢5668 TEL72-6700(代)

### 図書室

- 荒川図書室(荒川地区公民館内)  
村上市羽ヶ榎104-25 TEL62-3050(代)
- 神林図書室(神林農村環境改善センター内)  
村上市岩船駅前63 TEL60-1500(代)
- 山北図書室(さんぼく会館内)  
村上市府屋177-1 TEL77-3798(代)

# いい本みつけた 2024

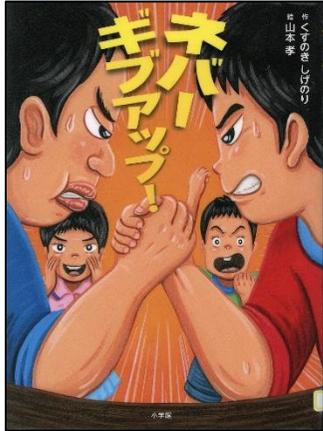
## 小学5・6年生むけ



村上市立中央図書館

## ネバーギブアップ!

くすのきしげのり／作 山本孝／絵 小学館



ジュンのクラスでは腕相撲がブーム。休み時間になるといつも教室のあちこちでしているけれど、腕相撲が苦手なジュンにとっては毎日イヤで仕方がない。ところがクラス内で「腕相撲大会」が行われることに！ジュンは担任の先生と秘密の朝練を始める。

## ぼくはうそをついた

西村すぐり／作 中島花野／絵 ポプラ社



大おじが原爆で死んだと祖父から聞いたリョウタは、憧れの人・レイの祖母も原爆で子どもを亡くしたと知り、祖父が語った話をもとに、自分の足で広島を歩き、被災した人々や今も悲しみを抱える人について考えていく。レイも、認知症になり死んだ息子を探すようになった。祖母を救いたいと考えて…。

## がんばれ給食委員長

中松まるは／作 石山さやか／絵  
あかね書房



くじ引きで給食委員長になってしまった5年生の元木ゆうなは、ある日、給食の食べ残しが栄養士のバンビ先生を悩ませていることを知る。ゆうなは給食委員のみんなと、食べ残しをなくすための方法を考えるが、そのことが先生にばれてしまい…。

## ひと箱本屋とひみつの友だち

赤羽じゅんこ／作 はらぐちあつこ／絵  
さ・え・ら書房



小学5年生の朱莉は読書が大好き。ある日訪れた、ひと箱本屋カフェで一冊の手作りの本に夢中になる。本の作者は同年代の女の子・理々亜。感想の手紙を書いたことがきっかけで、朱莉は理々亜と会うことになる。当日、ドキドキしながら向かったカフェで、朱莉を待っていたのは車いすの女の子で…。

## 流星と稲妻

いなずま  
落合由佳／著

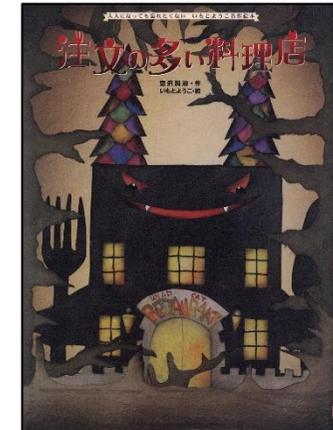
講談社



小学6年生の善太は、クラスメイトの前で転校生の宝と剣道の試合をすることになったが、小柄でいつもおどおどしている宝に負けてしまう。くやしがる善太だが、「くすのき剣道クラブ」で一緒に練習するうちに、二人は少しずつお互いをライバルとして意識するようになっていく。

## 注文の多い料理店

宮沢賢治／作 いもとようこ／絵 金の星社



山で狩りをしていると、道に迷ってしまった二人の紳士。そんな山の中で見つけたのは、「西洋料理店山猫軒」。どんな料理が出てくるのか、楽しみにしながら店の扉を開けて中に入ると、そこには紳士二人へのさまざまな注文が書かれていた。